

学校法人 鶴岡学園 北海道文教大学

北海道文教大学大学院 北海道文教大学附属幼稚園
北海道文教大学明清高等学校



2

016年1月5日(火)13時
より、恵庭キャンパス学生会
館学生食堂にて北海道文教
大学・北海道文教大学明清

高等学校・北海道文教大学附属幼稚園の教職員200名余が参加し、学校法人鶴岡学園の新年交社会が開催されました。新年に当たり鈴木武夫理事長・学長より学園の運営状況報告並びに新年を迎えるにあたり具体的事業計画や抱負、施設の拡充及び改修計画について説明がありました。教職員が一丸となりこれらの事項の実現を果たし、弛まぬ継続努力を惜しまず、新たな事項にも積極的且つ慎重に取り組み計画実行する決意を確認いたしました。18歳人口の減少に伴う厳しい環境にあつて、本学園のあるべき姿の明確な示唆を受け、教職員も迷いなき方針に大いに賛同し、個々の役割を改めて確認し実践あるのみと決意を新たにしていきました。

①本学園の財務状況及び運営について、主軸である大学の継続的学学生定員の確保並びに収容定員の保持が顕著であり、極めて安定し適切な運営を継続している事を報告いたします。さらに、鶴岡記念図書館前部に建設中の鶴岡記念講堂も本年11月には竣工予定であり恵庭キャンパスの教育環境は、より一層充実完備されることを報告します。

②大学にあつては、殆どの学科において学学生が取得すべき目標が明らかであります。本学学学生・保護者の皆さんの本学に対する満足度は、その目標の実現にあります。したがつてその実現には、弛まぬ教育の質の向上と維持が不可欠であり、教職員・丸となった支援が前提であり、教職員の皆さんは国家試験合格結果及び就職率道内私学第1位を達成・継続してこられました。引き続き教

育成果の維持継続をお願いいたします。これらの結果をおし教育の成果が目に見える形で地域に受け入れられる事は地方私立大学の使命でもあります。さすれば、極めて厳しい環境にあつても入学定員の確保継続は可能であります。昨年の健康栄養科学研究科の新設に続き、新年度は新たにリハビリテーション科学研究科・こども発達科学研究科の大学院2研究科を追加申請計画であり、これにより教育研究のより一層の充実が図られる計画です。一方、学園及び大学の運営、財政の安定を揺るぎなきものにするには入学定員及び収容定員の増大が急務であります。それには高等教育業界並びに内外の成功例をよく研究し、慎重且つ大胆な中期戦略を実行する決意を固めなければなりません。

③高校・附属幼稚園にあつても教育の質の向上は言うまでもありませんが、まず高校の「進学校」への移行を実現することが急務であります。その為には教職員のレベルアップを図る為、積極的採用を実施していますが、本年も引き続きその方針に変更はありません。高校・幼稚園共に校舎の耐震化工事並びに改修時期にきており、現キャンパスでの改修か移転かの論議も含め抜本的決断の時期であると認識しております。さらに幼稚園にあつては「認定こども園」への移行を決定し、小田園長ともよく協議し、肅々とその移行準備を進めてまいります。

(鈴木理事長・学長挨拶より
抜粋)



「実績の文教」＝「就職力の文教」

北海道文教大学は1999（平成11）年、4年制大学としてここ恵庭市に開学しました。その由来は1942（昭和17）年、札幌市にて設立された北海道女子栄養学校にあります。開学当初は外国語学部1学部のスタートでしたが、2003（平成15）年に人間科学部健康栄養学科を開設、2006（平成18）年に同理学療法学科、2007（平成19）年に同作業療法学科、2008（平成20）年に同看護学科、2010（平成22）年に同ことも発達学科を開設し、2学部6学科の現体制が整備されました。現在では全2学部6学科の内4学科が国家資格取得を、2学科が教職免許等を取得目標に掲げています。

本学は鈴木武夫理事長・学長が掲げる「実学重視」の姿勢に従い、学生・教職員が一丸となり、この目標達成に日々取り組み成果をあげてきました。2010年の作業療法学科完成年度以降は、その成果をつぶさに公表し、「実績の文教」と呼ばれるよう研鑽を重ねてまいりました。昨年度（2014年）は健康栄養学科における管理栄養士国家試験合格者123名（受験名144名）の実績により、念願の大台3ケタを達

成することができました。この合格者数は養成課程を持つ4年制大学にあつて、道内1位、全国9位の成果をあげることができました。さらに例年のとおり理学療法学科では理学療法士国家資格合格者85名（受験者86名）の実績により、これも道内1位、全国5位と確実な成果をあげました。作業療法学科でも作業療法士国家試験合格者44名（受験者48名）であり、同じく道内1位、全国4位と満足のいく結果であったといえます。養成校の多い看護学科の看護師国家資格合格者91名（受験者94名）の実績は、これも揺るぎなく安定継続した成果を示している証拠と言えます。

これら国家試験において、全国の平均レベルを超える高い合格率を各学科が足並みを揃えて実現できるのは、単なる国家試験突破のための国家試験対策ではなく、医療人、教職者としての人間形成教育や意識づくりの追究がもたらしたものであり、この基本姿勢が、各学科の教育基盤にあり、他との違いになっているものと確信しています。この実績に奢ることなく着実に成果を維持継続し、「実績の文教」と呼ばれ、自他共に認める新たなステージに立ったこと

を強く自任し、さらなる決意を改めております。

この「実績の文教」が我々にもたらした恩寵は、何物にもかえがたいものです。読売新聞社刊『就職に強い大学2015』において、卒業者数300人以上の国公私立大学を対象に行った調査で、道内私立大学1位、全国33位の栄冠を頂きました。全学平均99・4%の就職率達成の成果は、ここ数年継続し守り続けた実績であり、大学における学びの質を、社会が評価している証であります。それには個々の学生の努力・頑張りには絶対条件ですが、昼夜を厭わず積極的支援を惜しみなく提供する教職員の援助も見逃すことができません。実習教育の多い本学キャンパスで、秋口から厳冬期にあつて煌々と明かりの灯る就職課の風景は、文教キャンパスにあつて今や風物詩ですらあります。ここに「実績の文教」が「就職力の文教」へと結実した姿を確認することができます。

「実績の文教」が「就職力の文教」へと結実した姿は、理学療法学科・作業療法学科・看護学科の各学科における就職率連続100%の事実がこれを容易に裏づけています。さらに、国際言語学科96・4%、健康

栄養学科99・3%、これも発達学科100%とこれらの学科の就職率実績も負けてはいません。全学平均99・4%の実績はこれら成果の積み重ねであります。次にいくつかの具体的事例をご紹介します。

保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭、4種の資格から最大3種の資格を取得できることも発達学科は、昨年2期生が巣立ちました。教職免許は取得する事ができても実際に任用されるのが極めて厳しい難関分野です。チャレンジ場面では、国立大学の学生と競合することになります。文教生も着実に実績を積み上げつつあります。その成果が今春卒業予定の3期生の教職者内定結果として現れてきました。さらに就職内定の3割にあたる24名が、地方公務員として任用される快挙を2期生が実績として残しており、追隨する3期生への期待も大いに高まっています。これらは本学科の学生と教員の早期からの積極的な取り組みが功を奏しているものと思われまます。教職担当と公務員担当のお二人の先生に取り組みの姿勢を伺います。

教員採用 一次試験全員合格

こども発達学科の学生が、教員採用試験に挑戦して三年目になりました。一期生は三名、二期生が六名、そして十九名受験した三期生が、一次試験全員合格、二次試験では見事十名の合格者（登録）を出しました。

学生は勿論、学科の教員も悲願だった二桁の合格になりました。

教員採用試験のための講座は、学科開設の二年目、一期生が二年生になった年から始めました。週一回程度の通常講座に加えて、冬休みと春休みに各々五日程度（半日）の集中講座も加えました。学科の教員への指導です。経験者も少なく手探りの状況でした。二年目からは、教授指導の専門家・東京アカデミーにお願いして、通常講座に五回、主に「教職教養」を担当していただきました。また春休みに、一日五コマの五日間集中講座も頼みました。採用試験・一次の直前の五・六月に教育実習を行う四年生にとっては、この三・四月の講座が、一次試験への最後の追い込みとなって、モチベーションを高め臨んでいたように思います。

切磋琢磨が力に

合格の伸びについて要因を考え

ました。第一には、学生同士の切磋琢磨があると思います。講座で、傾向と対策について学びますが、学習するのは学生自身です。「膨大な試験種目・内容と準備する時間に潰されそうになることも。」と話す学生がいました。しかし、「その時励みになったのは、仲間が、『来週、模擬授業見合おうよ。』」「集団面接の練習やろうよ。」と、誰からともなく誘い合った。」と、合格した多くの学生が語っています。学生同士で「自分たちが頑張ろう。みんなで先生になろう。」と励ましあって実践したことが、成果に結びついたと考えます。

一次合格が受験者十九人全員でしたが、二次試験の成果の要因としては、大学三年次に、恵庭市内の小学校へ週一回半日、アシスタントティーチャーを行ったことが、自己推薦書の内容や、面接の表現力に生かされたと考えます。今後、恵庭・札幌の教育実習校をはじめ、多くの方々のご指導をいただきながら、成果をあげられるよう努めてまいりたいと思います。

（田島与久教授
こども発達学科）



こども発達学科「Peerile H Y K」（保育所・幼稚園・公務員就職対策講座）の拡充による進路の充実



市町村立保育所・幼稚園・認定こども園及び地方公務員（福祉系、一般職）を中心とした就職試験対策を実施し

ている「保幼公就職対策講座」ですが、今年度より愛称を「Peerile（ピアール）HYK（ほようこう）」とし、さらなる充実をはかりました。資格の学校TAC札幌校の委託授業（教養試験のうち政治、経済、数的推理、判断推理など）を2年生にも広げ、全体では20時間増やし80時間になりました。また、面接などの二次試験直前対策では初めて土曜開講を実施しました。さらに自習室Peerile ROOMでは、自由に使える講座書籍「Peerile BOOKS」を拡充しました。

その結果、今年度（平成27年度卒業、3期生）は、市町村保育職には札幌市5名、江別市、釧路市へ7名、市町村一般職には滝川市、千歳長生村へ2名、こども発達学科としては初の国家公務員である

る刑務官、そのほか北海道警察、学校事務（北海道内市町村）の合計12名が最終合格を勝ち取りました。市町村保育職の募集がまだ続いておりしますので、さらなる上積みが期待されます（2015年11月末時点）。人数では昨年度（2期生）並みですが、保育職では難関といわれる札幌市の合格者数が2.5倍になり、国家公務員合格者も出るなど、進路先の広がりや充実ぶりが顕著であります。

このことは、進路対策への環境整備を充実させることで、学生の学びへの積極的姿勢を引き出し、希望する進路の実現に寄与する好循環がこども発達学科でできつつあることを示しているといえます。学生からは「TACの授業で苦手だった数的推理、判断推理の力がつき、一次試験（教養など）が怖くなくなった」「先生方が面接対策など何回も粘り強く教えてくれて合格までがんばれた」との感想が寄せられています。

（井上大樹講師 こども発達学科）



語学力プラスアルファで
続々内定Ⅱ国際言語学科

開学当初より外国語学部は、全国的に外国語離れ傾向や英語・中国語・日本語の3学科体制から国際言語学科1体制への移行と困難を潜り抜けてきた学部です。世界経済の枠組みにより益々グローバル化する社会にあつて、語学をスキルとして有する人材の需要は高まる一方です。国際言語学科も2016年春より英語教育に力を入れたカリキュラム編成となり、語学力プラスアルファの資質を有する人材を養成する計画です。以前よりこの学科の学生は、コミュニケーション能力に秀でており、就職活動時も面接や集団面接に極めて強いのが特徴でした。これも従来の学びの中で培われ受け継がれた成果であると思いません。それでは、語学力を駆使し活躍が期待される現場に内定が決まった二人の学生に話を聞きます。

北海道文教大学在学生の諸君、今春入学予定の高校生の皆さん。「実績の文教」―就職力の文教―を継承し継続発展するのは皆さんの強い意志です。皆さんの実践を力強く支援するのは我々教職員の使命です。それから常日頃、皆さんを温かく見守り続けてくださるご家族に感謝の気持ちを忘れず、その気持ちを大切にしてください。そうすれば皆さんの目標は必ず達成され明るい未来は約束されます。恐れず挑戦者の扉を共に開きましょう。



外国語学部
国際言語学科4年
栗原 なつみ

出身校：池上学院高等学校

【内定先】ANA新千歳空港

勉強にサークル
充実のキャンパスライフ

町中でよく中国語を目にしますが、最近は何が書いてあるかわかるようになりました。それは、大学で中国語

「自分もここに通いたい」と感じたことの2つが北海道文教大学を志望した理由です。大学祭でダンスサークルの発表会も経験し、充実のキャンパスライフを送りました。

準備万端で臨んだ就職活動
自分で考え、行動できるように

3年次の後期に就職活動についての授業があり、早い段階から就職を意識するようになりました。面接の緊張感を少しでも減らそうと、就職課のサポートを得て、事前準備に力を入れたことが好結果につながったのだと感じています。中国語が話せることもアピールになりました。内定をいただけただけでなく、自分で考え、行動に移せるようになったのも就職活動で得た成果。一人ひとりの意志を尊重し、後押ししてくれる環境がこの大学の魅力です。



外国語学部
国際言語学科4年
熊野 貴文

出身校：北海道江別高等学校

【内定先】JR北海道

海外留学を経て
コミュニケーションに自信

もともと興味があった英語とともに中国語もしっかり学べるところに惹かれ、推薦で入学しました。今では

中国語も日常会話には困らない程度までしゃべれるようになり、目標としていた海外留学も3年次に実現。留学先のオーストラリアでの4カ月で英語力が向上したのはもちろん、初対面の人ともうまくコミュニケーションをとれるようになりました。就職活動時の面接で気後れすることなく話ができたのも、いろいろな国の人たちと積極的に関わった、そのときの経験があったから。

語学力を生かして
外国人観光客の助けになりたい

就職を意識したのは大学3年のとき。留学先で自分が助けられたように、日本を訪れた外国人をサポートできる仕事に就きたいと思い、多くの外国人観光客が利用するJR北海道を志望しました。就職活動をするにあたって、自分でも業界や企業について調べましたが、就職課の担当者に情報収集していただき、とても助かりました。ここ数年、北海道は中国や台湾の観光客が多いこともあって、中国語を生かせる機会もあるのではないかと今から期待しています。

学びの質を、社会が評価 強さが、この結果に表れています。

2014年度
就職率
(全学平均)

99.4%



※1 2014年7月20日発行『就職に強い大学2015』(読売新聞社)より

(2015年5月1日現在)

● 2014年度 国家試験実績

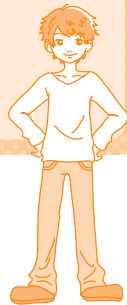
理学療法士



合格者数

85名

受験者 86名



本学 98.8%

全国平均 82.7%

道内新卒合格者の5人に1人が本学学生 ※3

作業療法士



合格者数

44名

受験者 48名



本学 91.7%

全国平均 77.5%

道内新卒合格者の5人に1人が本学学生 ※3

管理栄養士



合格者数

123名

受験者 144名



本学 85.4%

全国平均 55.7%

道内新卒合格者の3人に1人が本学学生 ※3

看護師

合格者数

91名

受験者 94名



本学 96.8%

全国平均 90.0%

※2 全国と道内の順位は、養成課程をもつ4年制大学が対象

※3 道内養成校が対象

生まれ変わります。

すでにご存知の方も多いと思いますが、2016年4月、文教の国際言語学科が生まれ変わります。改革の土台となる3つのコンセプトは：

英語で学ぶ

主役は学生

将来に直結

2016年度から本格実施されるこのカリキュラムのなかには、2015年度すでに先行実施したものがいくつもあります。その一端をここでご紹介します。

1 英語で学ぶ

英語が嫌いなわけではない。でも、文法を学び、単語を覚えるだけの英語学習に興味を持ってない、意味を見出せない・・・と思っていた方にこそ、体験してほしいのが文教の学びです。英語を使うことで英語の力を伸ばす、というのが文教方式。どんなに音楽の理論を学んでもピアノを弾くことなしにピアニストにはなれません。どんなに戦略を練っても、ボールに触らずにサッカー選手にはなれません。それと同じように、英語を使ってみることもせずにEnglish Userになることはできません。英語を使う場面を最大限に増やす、というのが文教の語学上達戦略です。

そのための取り組みとして：

① 英語を使う講義をがんがん取り入れる

たとえば、

- 『映画で学ぶ英語』の先行実施科目では映画「レ・ミゼラブル」を鑑賞し、場面ごとに本を読み、時代背景を説明するプレゼンテーションを行ったり、ディズニーの「ポカホンタス」を鑑賞した後、本を読んでその描かれ方の違いについて考察したり…
- 『スピーキング』の先行実施科目では、フィリピンのネイティブスピーカーとのスカイプによる英会話レッスン(1日25分)が課題となり、「フィリピンの観光名所」「フィリピンの伝統料理」などのテーマごとにインタビューをしてくる練習を1週間行った後そこで得た知識をクラスメートに紹介しあったり…
- 『ディベート』の先行実施科目では「原子力発電の是非」「整形手術の是非」「刺青のある客を温泉旅館が拒否することの是非」などのトピックについて、グループで準備したプレゼンテーションをもとに討議したり…

② 海外語学留学をしっかりサポートする

「留学したいけどお金がない・・・」という学生の気持ちをそっとサポートするために、国際言語学科では競争的留学資金補助制度を設立しました。学内で実施したTOEIC IP テストのスコアに応じ、20万円、15万円、10万円の補助をうけ今年度はニュージーランドに6名、オーストラリアに2名、カナダとフィリピンにそれぞれ1名が短期留学し、きわめて有意義な1ヶ月間を過ごしてきました。帰ってきた先輩たちは充実感にはちきれそうで、GCCでの報告会ではどうどうと留学成果を英語で発表してくれました。帰ってくるなり「春にまた留学します!」「今度はもっと長い留学に挑戦します!」と意気込みを語るなど、その成長振りに教授陣も圧倒されました。



国際言語学科が

③ GCCで気軽に学内留学

2014年10月にOpenしたばかりのGlobal Community Centreでは映画上映会、留学報告会や季節のイベント、英検・TOEICのための自主ゼミなど、英語を使う活動が催されています。こうしたイベントを通じて、なかなかきっかけがつかみにくかった留学生との交流や先輩・後輩の絆が強まっています。

2 主役は学生

先生が黒板に書いたことを必死で覚えてテストで吐き出す、というスタイルの学びでは、主役は常に先生になってしまい、学生は受身にならざるをえません。新しい国際言語学科では学生が学びの中心にあるような工夫がいっぱい。自分たちで調べ、伝えたい情報を英語で発信していくスタイルの授業がその中心です。

3 将来に直結

新カリキュラムでは英検・観光英検・TOEICなどの資格試験にも対応して、自信を持って就職活動に取り組めることを目指しています。すでに実施されたTOEIC IP テストでは800点を超えてくる先輩も。また、今年度から導入された観光英検でも挑戦した24名のうち18名が合格証書を手に入れています。

Come and Join Us!

If you are looking for a place to broaden your views so that you will be prepared to work in this globalising world, why don't you come and join us at HBU? Wonderful opportunities are waiting for you here; exciting classes, friendly professors, wonderful friends you can work together, and appealing study abroad programmes. I went to Australia for a year and I can tell you it was the most challenging yet fulfilling year of my life! I was also happy when I came back to this university because there



are many people who have studied abroad and there are many opportunities for me to talk with them in English.

たくさんの仲間たちと素晴らしい4年間を過ごして国際言語学科にきませんか!? 多くの仲間たちが留学を経験するこの学科で、いっしょに国際人を目指そう!



商品開発、食育ボランティア、講義、実習と充実の学生生活!

健康栄養学科に入学して、講義だけでなく実習授業も多いので、難しい専門知識も楽しく学ぶことが出来たと思います。調理科学実習では、日本の正月料理やパエリア、ローストチキンなどの各国の料理も作りました。授業の最後には、私が好きなオムライスやパンケーキを両方盛り込んだメニューを1日分考え、グループの皆で調理して食べました。初めて1日分を作ったのでとても大変だったけれど楽しかったことを覚えています。また、食品加工学実験という加工食品を作る授業では、パンやヨーグルト、ケチャップ、みかんの缶詰を作るなど、普通経験できないような事が体験できました。特にみかんの缶詰は中学校の理科の実験を思い出させるようなもので、グループの皆で驚きました。

これら学内の授業で学んだことを活かし、授業外の活動では、商品開発研究会で「こんな商品があったらいいのに…」という思いから、地産地消をテーマに恵庭バーガーやパスタソースなどを製作しました。「ヘルシーなもの」や「手軽に食べられる」など、皆のちょっとした考えや要望を持ち寄って一つの商品企画を生み出し、それを実際に商品化するために学内で試作会をしました。試作中に材料が足りなくなって別の材料を使ったところ、ものすごく美味しかったことや、他のグループともものすごく出来の悪い試作品をど

っちがマズイか食べ比べたこともいい思い出です。また、食育ボランティアでは、小学校で提供されている給食のメニューを作ってみたり、大根の収穫作業から一本余すことなく全てを使用した調理をしたりなど、地域の親子と一緒に食育という観点から学びました。なかでも、最初は恥ずかしがってなかなか話してくれなかったシャイな男の子が、皆で作ったごはんを美味しく食べて、最後には照れながらも「楽しかったよ、ありがとう。」と言ってくれたことがとても嬉しく今でも忘れられません。

食べるのが好きでこの学科に入学したけれど、大学生活を通して多くを学び、大勢の人と触れ合うことで自分のスキルが上がりました。今では、たくさんの人々を食事から笑顔にしていきたいという夢を持っています。入学予定の皆さんも、ぜひ一緒に食について学んでみませんか？



国家試験に向けてラストスパート!

現在、理学療法学科4年生は理学療法士国家試験に向けて猛勉強中です。就職活動も同時に行いながら、毎朝の小テスト、教員による国家試験対策セミナー、模擬試験など毎日国家試験対策をこなしています。また、個人での学習の他にゼミ単位でのグループ学習も行い、お互いに教え合いながら、それでもわからないことがあれば教員に聞きに行くなどして4年間の集大成に向けて励んでいます。国家試験は4年間に学んだ基礎医学・臨床医学分野から

理学療法専門分野までの幅広い知識を問われる試験ですので、これまでに学んだところ全てを復習しています。1年生の時に講義で学んだことから4年生の臨床実習で学んだことまで一つ一つ確認しながら、もう一度知識の再確認です。国家試験対策の勉強をすることで、今まで頭の中でバラバラだった知識が繋がることもあり、理学療法に対するより深い理解が得られるようです。このような経験がさらなるやる気を生み出し、勉強により励むことになっています。また、勉強し、努力したことが模擬試験の結果となって返ってくることもモチベーションとなっているようです。2月末の国家試験では全員が蓄えた実力を発揮して、合格し、新年度に晴れて理学療法士となっていることを教員一同、切に願っています。



■作業療法学科

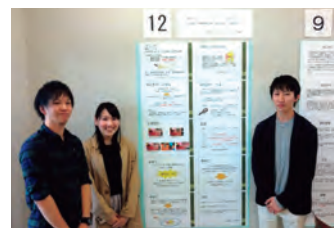
我が学科の自慢（卒業研究を作業療法学会で発表!）

作業療法学科は平成20年度の開設以来これまで1期生から5期生までが卒業し、北海道内外を合わせ約220名の作業療法士を養成致しました。就職先は病院が多く、身体や精神の障がいにより生活が困難な方に対する作業療法を日々行っています。

作業療法士は日々の研鑽を学会にて発表することが出来ますが、本学の卒業生も毎年、日本作業療法学会や北海道作業療法学会に参加し、学会発表する学生が増えてきました。

学会発表には個々人が応募し、演題査読審査委員の合格をもらって発表することが出来、全国学会では全800題程度の合格のうち北海道からは30題程度が参加し、本学卒業生はそのうち教員を含めると7～8題程度発表しています。また北海道学会においては100題中10題程度が本学卒業生であり、北海道文教大学卒業生が作業療法士としてスポットライトを浴びています。

今年度は、神戸で開催されました日本作業療法学会にて卒業生が卒業研究を発表し、多くの質問や意見を頂いてきてひと回りもふた回りも大きく成長した姿を見せていました。日本作業療法学会は毎年様々な都道府県で年1回開催され、ちょっとした旅行気分を味わえるのも醍醐味です。本学作業療法学科を卒業し、本学の教員や先輩たちと一緒に学会に行って卒業研究を発表してみませんか？



■看護学科

演習で看護実体験!

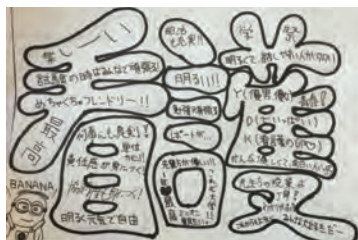
看護学科では、4月に入学した1年生が基礎看護学の演習では、患者さんの身体を拭く「清拭」という方法について学んでいます。演習では、手洗いの方法やベッドメイキング等の初歩的な内容から始まり、その後実際の患者さんへのケアについて学んでいきます。

演習の際には、学生がしっかりと看護技術を学ぶことができるように教員やインストラクター



を配置し、きめ細かく丁寧に指導しています。また、病院等の実習においても少人数のグループに実習指導教員を1名配置し、学生の学びをサポートしています。

学生からは、「時間管理が大変ですが、その分緊張感を持って作業できるので演習前では気づけなかったことを学ぶ大切な機会だと思います。」「最初は看護の専門的な講義に戸惑いがありましたが、その知識を生かすため演習が組み込まれています。」「先生方の指導と環境の整った場での演習は知識を自分の物にしてくれます。北海道文教大学でともに看護師を目指しませんか!」との声が聞かれました。



■国際言語学科

「映画で学ぶ英語」ってどんな授業?

2016年4月にスタートする新カリキュラムにはこれまでの英語学習とはまったく異なる視点から構成された楽しい講義がたくさん盛り込まれています。その中のひとつ、「映画で学ぶ英語」とはどんな講義なのか少しご紹介します。

この講義には大きく2つの目的があります。ひとつは物語の文脈を通じてさまざまな語彙・表現・文法を生きた形で習得すること、もうひとつは映画を題材としてそこからディスカッションをしたり、自分の意見を書いたりすることです。1つ目のタイプの学びについてはOpen Campusなどの体験講義でもご紹介していますのでここでは2つ目のタイプの課題を紹介したいと思います。今学期は、Reading課題として“Pocahontas”の伝記を読んだあと、Disneyの映画を見て、どこがどのように脚色されていたか議論したり、“Les Misérables”の映画をみながら、主人公のJean Valjeanになりきった日記を書いたり、背景となったフランスの6月暴動に関するレポートを英語でまとめたり、といったものがありました。映画を扱うのでとても楽しい授業ですが、課題はハード。でも着実に英語の力がつく、そんな講義です。



ボランティア活動から学ぶ

こども発達学科では、多くの学生がいろいろなボランティア活動を行っています。その中から、主に二つの活動を紹介します。

1. アシスタントティーチャー

アシスタントティーチャーとは、恵庭市教育委員会と市内の小・中学校の協力の下、本学で教職課程を履修する学生が各学校で授業中のアシスタントを務めるものです。毎年10月から週1～2回小学校（中学校）を訪問し、算数や国語などの授業や行事に直接参加し先生方のアシスタントを経験しています。

2. チャレンジド教室

恵庭市近辺の障がいなどのために支援を必要とする幼児・児童・生徒とその兄弟姉妹が大学に集まり、学生と一緒にスポーツや遊び、創作活動などを行うものです。3年生が活動全般をリードし、2年生と1年生が直接の指導に当たり、子どもたちの理解や支援のあり方を学んでいます。

これらの活動は、講義や演習では学ぶことができない、保育や教育に役立つ実践力を身につける貴重な場となっています。これらから育った多くの卒業生が、保育所や幼稚園、小学校、特別支援学校、そして福祉の場で活躍しています。



NEWS ■ 附属幼稚園

しんちゃん(5歳)、リサさん(大学4年生)が語る幼稚園

1月で5歳になるしんちゃんが、附属幼稚園のことを教えてください。

では、どうぞ!

「アブラカダブラ チチンのパイ!」附属幼稚園のみんなが大好きなおまじないだよ!

お誕生会のお楽しみのマジック! えんちょうせんせいの手品の時のオマジナイ!!

今度のマジック、失敗しないでできるかなあ? 時々失敗しちゃうから、みんなで応援するんだ!! みんな力いっぱいだからね。だから大丈夫。

附属幼稚園のお友達みんなととっても元気なんだ! だって、毎日ランニングしているからね。ママにだって負けないようになるよ! ランニングは、冒険広場の方にも行くよ、リスもいるしダンゴ虫やいろいろな虫がいっぱいいるんだよ。ひよ子さん(3歳児)だって、どんぐりから葉っぱが出ているのを見つかったり、探検もできるんだよ。あと、あそびまつりって、みんなで好きなところに行って遊べる日があるんだよ。ほーるも、お外もどこでも遊べるんだ。みんなで相談して、いろんなことができるんだ。附属幼稚園においでよ!! 一緒に楽しいこといっぱい出来るんだからね。

この間、附属幼稚園と一緒に遊んだ大学生4年生のリサさんが、お友達のことを教えてくださいました。

附属幼稚園は、異年齢縦割りと言って、3歳・4歳・5歳児の子どもたちが一緒に生活しています。もも組いちご組ばなな組と3クラスあります。子どもたちが身の回りをきれいにしようと、普段の遊びの中で季節ごとに作ったものを飾っています。もうこの時期になると5歳児年長組の子どもたちは、すっかりクラスをまとめるお兄さんお姉さんの顔つきで、お当番の活動など自分たちで考えたことに自信をもって行動しています。自分で進める喜びを感じているのじゃないかなあ。

劇遊びでも年長さんは、すべてのセリフ、動き、踊りをしっかりわかっていて、子どもたちのまとめ役を立派に果していました。3歳児の衣装を直してあげている姿は、まるで小さなお母さん! 小さな子が自分でできるようになるのが嬉しい。気持ちが分かっているから、どうしたらいいかとしっかり考えている。「オトナ」な子どもたちです。

藤野の丘の上の幼稚園で一日過ごす、子どものすごさが分かります。



大学祭 終わりました！

今年度の大学祭も多くの方々にお越しいただき、大盛況のうちに終わることが出来ました。(2015年10月9日(金)～11日(日))

たくさん企画がありましたが、なかでも、歌手のMACOさんによるゲストライブは、素晴らしい歌声を披露していただき、立ち見が出るほどの人気ぶりで大いに盛り上がりました。多くのご来場ありがとうございました。来年もお待ちしております！

勿論、多くのサークルも大学祭に参加しています。

参加方法は様々で、吹奏楽部の演奏会や軽音楽部のライブやYOSAKOIソーランサークルによる演舞、写真部による展示会であったり、また、模擬店の出店であったり…紙面では説明しきれなくてごめんなさい。



当日は強風が吹いていましたが、露店は大盛況！



大学祭でのYOSAKOIサークル演舞の様子。
夜遅くまで練習しています。今年、夜間照明を設置し、屋外の練習スペースを拡大しました。これからもがんばれ！



夏休み明けにテニスコートの改修工事が行われました。す・ご・く!きれいです！硬式、軟式ともに存分に練習してくださいね。

サークル活動の巻

サークルの活動目的は、活動自体にあることは勿論、他にも学科や学年の垣根を越えた学内の交流、他大学や地域の方々との交流など、普段出来ない経験を得ることがあったりなど様々ですが、本学にある42サークル全てが目標を持ち日々頑張っています。

リーグ戦のある各サークルから昇格・降格したとの報告が随時入ってきていますが、笑顔で学生課に現れるよう日々応援しています！

ホットな話題

この時期、大学の校舎内外は、イルミネーションで飾られます。

2016年は2月5日までの期間点灯する計画です。本学の学生の自治組織「学友会」が日々頑張っているのです！



雪景色に映えるイルミネーション



結果

- 1位** クレヨンからのおねがい！
ドリュー・デイウォルト文
オリヴァー・ジェファーズ絵
- 2位** 神様の御用人 浅葉なつ 著
貴族と奴隷 山田悠介 著
(2位は同数)

多くの方に図書館に足を運んでいただき学生たちが選んだ本をぜひ手にとっていただきたいと思えます。

「図書館にこんな本があればいいのに」という思いを実現する選書ツアーを昨年から開催しています。本年度も学生たちが書店に行つて図書館に置いてほしい本を選び、自分が選んだ本の中からこれはという本の紹介をPOPにして展示を行いました。POPは、自分が薦める本をアピールするために、はがき大の用紙にキヤッチコピーや絵などを工夫して表現したものです。イチオシの12冊分の力作が並びました。

鶴岡記念図書館 POPコンテスト 開催！

2015年9月28日から10月11日までの期間、図書館初開催のPOPコンテストが行われ、10月21日の表彰式で3名の学生に館長から賞品が渡されました。

◇平成27年度製菓衛生師 C-netスクーリング生(Wスクール制度) 全員合格(15名)!

食物科3年生のWスクールによるC-netスクーリング受講生15名が、製菓衛生師の国家試験に全員合格しました。宮島学園北海道製菓専門学校での1年次からの夏・冬・春の長期休暇中のスクーリングと本校での試験直前放課後講習の成果といえるでしょう。

◇ノーチャイム制が証!時間を意識した学校生活

〔ノーチャイム制の実施のなかで〕〔食物科2年 生徒会会長 吉田亜由〕

私は、この学校に入学してから、時間を気にかける場面が多くなったと思います。それは、この高校で取り入れているノーチャイム制が大きな理由です。チャイムが鳴らないと初めて聞いた時、とても驚き不安に思いました。実際、チャイムの鳴らない学校生活は不便で、楽ではありませんでした。始まった当初は、教室移動のある授業の休み時間に、クラスメイトとの会話に夢中になってベル席を守れない人の姿もよく見かけました。しかし、その一方で、時計をよく見て行動する人や友達同士で互いに声を掛け合う姿も見られるようになりました。現状は、まだ完璧とはいえませんが、時間を気にかけて行動する人の姿を多く見ることができるのは、このノーチャイム制導入のお陰で、良いことだと思います。

◇地域との連携の実践

明清高校では様々な形で、地域との連携を実践し推進しています。

その主なものだけでも、厚生委員会による「通学路清掃活動」、園芸クラブ・子ども教育プログラム2年・子ども福祉プログラム3年による「通学路沿線花壇整備」、食物科1年の石山地区「老人ホームへの昼食提供」、食物科3年の藤野地区「町内会での高齢者食事会へのお弁当提供」、子ども福祉・探究進学プログラム3年の「真駒内養護学校との交流授業」実施、サッカープログラム3年での「小学生へのゲストティチャー交流会」実施。

そして、65歳以上の方を対象としての「高齢者パソコン超初級入門講座」、小学生対象の「チリモン観察会」、中学生以上対象の家庭でできる「簡単フレンチ&イタリアン料理講習会」等の「学校公開講座」を開催し、地域の多くの方々に喜ばれています。

そして、この冬には、ボランティア部等やサッカープログラムによる藤野地区の障がい施設や高齢者住宅への「除雪ボランティア」が計画されています。



〔藤野第1町内会、高齢者食事会へのお弁当提供〕〔食物科3年 高橋沙也加〕

私たち食物科は3年間を通して食に関して、専門的かつ将来の進路に関わった学習をしてきました。そして、これまで学んできたことを具体的に活かす機会として、お弁当の提供があります。これは、明清高校がある藤野第1町内会の高齢者に、健康を考えつつ、笑顔で食事を楽しんでいただけるようなお弁当を作るというもので、調理実習当日、各グループに分かれて米を炊き、魚を焼き、揚げ物や煮物を作ります。塩分量も考えてレシピは既に決めています、最終的に味を決めるのは私たちが、材料の切り方や火を通す順番にも工夫を凝らします。こうして完成したお弁当は、代表生徒によって高齢者の待つ町内会館へ届けられ、今年も好評をいただきました。

明清高校では、地域の方との交流が活発で、他のクラスでは附属幼稚園のお手伝いをしたり、食物科の1年生の時には、いなり寿司とおはぎを作って老人ホームの方に食べていただいています。地域に関わりながら、自分たちも調理人として大切なことを学べます。こうした場があり、そこで皆が真剣に取り組む評価されていることは、明清高校食物科が自慢できることの一つだと思います。





男子サッカー部 全国高校サッカー 選手権 大会全道大会出場！ (10月)

9月の全国高校サッカー選手権札幌地区予選で、全道大会出場をかけた札幌南高校と対戦し、3-2の逆転勝ちで3年ぶりに全道大会への切符を手に入れ、10月17日(土)からの函館での大会に出場。残念ながら1回戦にて敗退しましたが、大いに健闘しました。

女子サッカー部 全道三冠達成!!

全道高校体育大会優勝!(6月)
全国高校総体出場(8月)ベスト8!
全道高校女子サッカー選手権大会優勝!(10月)
全日本高校女子サッカー選手権大会出場(1月)
北海道女子サッカーリーグ優勝!(10月)

6月の高体連全道大会では、1-0で室蘭大谷に完封勝利して、連覇で8月の神戸での全国高校総体に出場。1回戦、関東代表花咲徳栄高校と対戦し、PK戦の末、初勝利しベスト8となりました。そして、10月の全日本高校女子選手権北海道予選でも、同じく室蘭大谷と対戦し、2-1で2年ぶり20度目の優勝を決め、1月の全日本高校女子サッカー選手権大会の出場を決めました。さらに10月の北海道女子サッカーリーグでも優勝、3冠を達成しました。次年度は、準優勝で終わった皇后杯全道予選でも優勝し、全道4冠を目指します。なお、今回の全国大会出場にあたっては、学園関係者の皆さんをはじめに多くの方々からのご支援をいただき、感謝申し上げます。

「全道大会に出場して」

普通科3年男子サッカー部前CP

西田龍弥

明清高校男子サッカー部には、少なくとも3年に一度は全道大会に出場するというジレンマがあるようで、今年度はその年でした。しかし、高体連ではまさかの予選1回戦負けという結果となってしまいました。その敗戦後は、以前に増して練習の強化やチームの意識改革に取り組み、今年度最後の大会に向けて調整をしていきました。選手権大会札幌予選では、高体連での反省から、どの対戦チームに対しても挑戦者としての気持ちで臨む、それをモットーとして戦いました。その結果、予選では苦戦しながらも勝ち進むことができ、代表決定戦まで行けました。代表決定戦では、点の取り合いとなり、結果的にPK戦で敗れてしまいました。第5代表決定戦でも、点の取り合いとなりましたが、勝つことができ全道への切符を手にすることができました。

函館での全道大会では、予選からさらに力をつけて臨んだものの、1回戦の旭川凌雲高校との試合では、チームの連携ミスもあって失点し、その後は相手ペースになりながらも巻き返すなどしましたが、結果的に5失点で敗戦しました。しかし、私たちは出せる力を出し切ることができ、運動量でも優っていたと思えます。相手との力の差が大きいとは思いませんでした。ただ、相手の方がミスが少なく、決めるところはしっかり決めることができていました。全道大会では、運動量ではなく、小さなことをコツコツとやらなければミスは減らせないと考えました。無駄な練習は何一つなく、自

分やチームが成長するためには、自ら何を考え何を意識するかが大切であることと、チーム一丸となって戦うことの大切さを改めて知った大会でした。

「この一年間を振り返ってみて」

普通科3年女子サッカー部
吉竹茉依子

女子サッカー部の今年の目標は、全道4冠と全国大会で2勝することでした。しかし、この一年間を通して、何度もチームがバラバラになりかけることがあり、その度、全員で乗り越えてきました。女子サッカー部の持ち味は仲の良さです。粘り強く戦い、結果を残すことができた試合では、一人ひとりがチームのために全力を尽くしており、充実感を得ることができました。この充実感が日々の辛い練習をまた乗り越える力となり、この繰り返しでチームの絆をより深めたと思います。インターハイの道予選では、初戦の難しさを改めて感じました。決勝は厳しい競り合いの中で勝ちきることもできました。皇后杯の決勝では勝負をPKまで持ちこたせし、勝つことができず、昨年度のリベンジを果たすことができませんでした。しかし、ここでの悔しさが選手権につながったと思います。先制されてしまいましたが、粘り強く、全員で戦いきり、逆転勝利することができました。女子サッカー部は、現在、1月に行われる全国大会に向けて練習に励んでいます。対戦相手は、九州の強豪校神村学園ですが、明清高校らしい、泥くさい粘り強いサッカーで、一試合でも多く戦えるよう、全員で力を合わせて頑張ります。

研究室訪問

Vol.1

「作業療法の学習は知的で最高に面白い」

作業療法学科教授 石田 裕二

作業療法学科の石田です。在学生のみなさん、そして、来春から晴れて私たちの「仲間」になるみなさん、大学の勉強についてどんな印象を持っているでしょうか。大学は高等教育機関であり、その本質は「自らの好奇心を持って学業に取り組むところ」と言ってもよいでしょう。特に作業療



法学科のような、国家資格を持って臨床現場での活躍を期待されている人材を養成する環境では、みなさんの自発的な学習態度が強く求められているのです。さらに付け加えるならば、みなさんの存在そのものが人間の健康的な生活を守ることになることを自覚し、それを「誇り」と思えるようにならなければなりません。そう、みなさんは社会に必要とされる人材となるのです！

人間科学部作業療法学科での勉強は、まず人間という存在を医学的視点から理解するところからはじまります。そして、リハビリテーションの専門職である作業療法士は、障がいの治療を担当する職種であることから、多くの障がいの原因となる疾患についての基礎的な知識を学ばなければなりません。さらに、それらの疾患や障がいが起こるメカニズムを論理的に理解したうえで、その人らしい生活を営める方法を具体的に探索できる能力を身につけなければなりません。これらの理由から、作業療法学科のカ

リキュラムは、「基礎医学・臨床医学の知識を深める内容」、「その人らしい生活ができるようになるための技術」、そして、「作業療法士として世に出るために必要な国家試験の対策」などの大きな柱に支えられています。

大学は最新の理論や技術を学ぶだけのところではありません。大学の使命は、数年、数十年後に展開される理論を構築する基盤を作ることができる人材を育成することです。そんなエキサイティングな、知的好奇心にあふれる環境がみなさんを待っています。在学生のみなさん、もっと楽しく、一層頑張りましょう。そして、新しく入学されるみなさん、私たち北海道立

北海道的立
教大学の
教職員と
一緒にこ
のような
知的で最
高に面白
い勉強を
しましょ
う！



「鶴岡記念講堂」建設中



講堂完成予想CG

学校法人鶴岡学園は、平成29年に学園創立75周年を迎えます。記念事業（恵庭キャンパス整備計画）として、本学園の歴史とキャンパスのシンボリック的存在として位置づけられる「鶴岡記念講堂」を建設中です。



建物は3階建て、タイル張りりとガラス面の融合したモダンな印象を持つ外観です。館内の見どころは講堂で、2階部分から3階にかけて全668席を擁し、2階部分の322席は可動式で、座席収納時は多目的ホールとしての運用も

可能です。また、本学園創設者である鶴岡新太郎・トシ両先生の鶴岡記念室の設置や図書館スペース、ICT設備を完備した多目的教室を備え、海外の協定校との交流を促進する場であり、国内外の同窓生や保護者や地域の方々も利用できる複合施設となります。

「鶴岡記念講堂」は、平成28年11月末に竣工を予定しています。世界と地域の拠点としてふさわしい記念講堂の建設事業の遂行にあたり現在、その建設資金の一部について広くご協力をお願いをさせていただいております。募金

研究室訪問

Vol.2

「私の学生時代と

やり残した留学」

国際言語学科教授 佐藤 進

私は高校時代の学科では理数科目が得意で、大学は物理学科に行こうと思ったのですが、現役合格はだめで、一年浪人してからも不本意な結果でした。それで、二浪目にはひそかに好きだった「漢文」を専門にしようと二八〇度の方向転換をされました。ただ、何となく漢文というのは古臭い感じがして、そのころ文学の雑誌や新聞などに「中国文学」という雰囲気濃厚にはなっていた東京都立大学中国文学専攻に入りました。



た。漢文というよりは英文や仏文と同じ感じがしたのです。

貧乏な家庭でしたから、大学納付金とアパート代は出してもらいましたが、生活費は全部アルバイトで稼ぎました。今の学生さんのアルバイトは飲食店が少なくないですが、私の場合はほとんど肉体労働です。大きな倉庫の荷出しの助手や、日本鋼管の資材置き場で大型鉄パイプのトラック積み込みの助手などが主なものです。二年生になると大学紛争で授業がなくなつたので、昼はそういう肉体労働、夜は下町工場地帯で、忙しい親の代わりに子供の相手をする学習塾で働きました。

授業はなかったのですが、関西から来ていた大学院の先輩に、中国語の初歩から専門的な学術書のことなどを教えてもらいました。研究室内の先輩後輩の付き合いは、今よりも濃いものがあり、授業が再開されると、同じ授業に出て受講するのは普通のことでした。

四年生の十一月に、父親が三笠市の道道で車に引かれ即死しました。卒論を書いているときだったので、事故の後始末といっしょ

に乗り越えるのは大変です。しかし、そのころ教わっていた学内学外の先生方から、事後処理が努力されたい、という励ましが寄せられ、それなら頑張ってみようと大学院に進んで研究者になつたというわけです。

しかし念願の中国留学は、そのころは制度自体がなくて出来ませんでした。初めて中国に行ったのは三十八歳の時、すでに大学の教員になつていたので、中国の大学に講義に行つたのです。アルバイトで苦しい学生生活はやりたくないですが、留学は古希に近い今からでもやり直したいと思うほどです。今の皆さんは、本学の交換留学制度などを利用して気軽



佐藤進・濱口富士雄（編）
全訳 漢辞海

父母懇談会を開催しました

父母懇談会は、大学の情報を伝えることによって、大学と教育の現状を理解してもらうことを目的としているものです。恵庭キャンパスが、2015年10月11日（日）に、大学祭と同時に開催したほか、旭川市（10/24）と北見市（10/25）でも開催しました。

参加した父母からは、子供が元気に大学生活を送っているようで良かったという意見や、個別面談でいろいろな話が聞けて安心したなどの意見がありました。

本学では約2500人の学生が学んでいます。その約半数が、札幌や恵庭周辺以外の出身者で、本州の高校から本学に入學して一人暮らしをしている学生も少なくありません。

地方会場は、毎年、違う地域に赴いて開催する予定です。



恵庭キャンパスでの開催の様子

入試日程

| 入試区分 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表 | 手続締切 |
|--------------|-----------------|-----------|---------|---------|
| 一般入試(Ⅱ期) | 2/15(月)~2/29(月) | 3/3(木) | 3/9(水) | 3/18(金) |
| 一般入試(Ⅲ期) | 3/2(水)~3/17(木) | 3/22(火) | 3/23(水) | 3/25(金) |
| センター利用入試(後期) | 2/15(月)~2/29(月) | 個別試験は課さない | 3/9(水) | 3/18(金) |
| 特待生入試(C日程) | | | | |

※一般入試(Ⅲ期)の実施学科は、国際言語学科、こども発達学科のみ
 ※特待生入試(C日程)の実施学科は、理学療法学科、作業療法学科、看護学科のみ
 ※特別入試(後期)、編入学(後期)については、「学生募集要項 2016」にてご確認ください。

AO入試一後期(国際言語学科)

| コード | エントリー締切 | 面談日 | 出願許可 | 出願締切 | 合格発表 | 手続締切 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| I | 2/8(月) | 2/10(水) | 2/13(土) | 2/17(水) | 2/18(木) | 2/26(金) |
| J | 2/15(月) | 2/17(水) | 2/19(金) | 2/24(水) | 2/25(木) | 3/4(金) |
| K | 2/22(月) | 2/24(水) | 2/26(金) | 3/2(水) | 3/3(木) | 3/11(金) |

【面談時間】①14:00~14:30(30分) ②14:40~15:10(30分) ③15:20~15:50(30分)のうち、希望の時間帯。

【出願資格】国際言語学科:国語または英語の3年間の評定平均値が3.3以上の者。

またはエントリーシートに英文による自己紹介を記入した者。(詳細は「学生募集要項2016」参照)

入試のポイント!!

POINT ①

一般入試とセンター試験利用入試は“併願”が可能。
 しかも、志願書を同時に出す場合、同封する「調査書」は1部で結構です。

POINT ②

特待生入試で合格すると、4年間授業料が半額に減免されます。
 (但し、毎年度再審査あり)

POINT ③

第2志望まで出願が可能(一般入試、センター試験利用入試)。

| 第1志望学科 | 第2志望学科 |
|----------------|-----------------------------------|
| 理学療法学科 | 作業療法学科、看護学科、健康栄養学科、こども発達学科、国際言語学科 |
| 作業療法学科・看護学科 | 健康栄養学科、こども発達学科、国際言語学科 |
| 健康栄養学科・こども発達学科 | 国際言語学科 |

●再試験はありません。第1志望学科の得点で、選抜されます。
 ●第2志望の受験料は“無料”です。●志願書の指定欄にチェックするだけで出願できます。

春のオープンキャンパスのご案内

Open Campus in Spring

高校1、2年生の皆さん、いち早く“大学生”を体験しませんか?
 保護者の方も是非一緒にご参加ください!

3.25(金) 10:00~14:00

特典

参加高校生にはもちろん「図書カード」「大学オリジナルグッズ」「大学案内パンフレット」プレゼント

内容(予定)

- 学科紹介 ■体験講義 ■先生や先輩とフリートーク
- 学食体験 ■キャンパスツアー ■入試個別相談コーナー 他

●体験講義テーマ(予定)

| 学科 | テーマ |
|---------|---|
| 国際言語学科 | 先輩が伝える!国際言語学科の魅力 |
| 健康栄養学科 | 先輩から学ぶ「栄養士・管理栄養士の仕事」 |
| 理学療法学科 | 姿勢について |
| 作業療法学科 | 臨床心理学「こころを測定する?~エゴグラム~」 |
| 看護学科 | ナースキャップの歴史 |
| こども発達学科 | 実は知らない!?幼稚園と保育所の1日 ピアノ初心者でも大丈夫!(ML室体験) |

